次回開催予定
- COMING SOON -
■ 日時 8月24日(金) 19:00開始
■ 講師 安藤 忠雄
■ 会場 インターコンチネンタルホテル

7月6日
金曜日
2007年(平成19年)
例会式典委員会
第5号

JCI 例会式典新聞

The Regular Meeting and The Ceremony News

主な記事
■ セガサミー 里見氏
■ 顔 大谷委員長 板橋室長
■ 開港祭大成功
■ シリーズ例会⑤

国際都市構築 夢と希望に満ち溢れた横浜の未来

セガサミーホールディングス代表取締役会長兼社長、里見治氏

横浜」が真の国際都市となるために・・・

來來横浜～真の国際都市とは～。7月例会にセガサミーホールディングスの代表取締役会長兼社長、里見治氏が登場。「いい失敗を多くせよ。自分なりに努力した末の失敗は大きな糧になる。」何度も失敗を繰り返し、その都度這い上がってきた、不屈の闘志を持つ氏に、横浜が世界を魅了する真の国際都市となるべく、そのポイントや展望をお話し頂く。

今回の例会は大谷政明委員長率いる国際都市構築委員会の担当。横浜の未知なる可能性を発信するための例会と題し、夢のある講演をセガサミーホールディングスの里見氏にお願いしている。2009年に羽田空港の再国際化が予定されていることやより一層外国籍客船の寄港を視野に入れ、来訪した人々と地域市民の交流がいかに今後大事になってくるかをポイントに話しが展開される予定。会場が関内ホールから県民共済みらいホールに場所を移し、移動例会となる今回、大谷政明委員長は、横浜の都市イメージ、知名度アップにつながる運動展開をするべく、政策の提言を横浜青年会議所から発信し、真の国際都市を構築していけたらと意気込みを語ってくれた。2009年に開港150周年を迎える横浜。今まで以上に国際都市としての役割、期待が大きく膨らむ中、まさに今我々が考えなくてはならない重要な課題ではないだろうか。(光)

SEGA® 社名の由来

セガ(SEGA)の社名は、セガの前身であるサービスゲームスジャパン株式会社」のSERVICE&GAMESという単語から、各アルファベットの頭2文字であるSEとGAを結合して生まれました。エンターテイメントを通じて、社会奉仕しようという企業理念をあらわしています。(光)

連載 我が郷土⑤

港見区

昭和2年10月1日に誕生。住宅地が連なる丘陵部「丘のまち」と鶴見川に沿った「川のまち」、臨海部の「海のまち」で構成されています。昔から京浜工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。戦後になると、高度経済成長とともに商工業が盛んになり、住宅地の広がる下町らしい活気ある山側と海側とそれぞれ特徴ある街並みと姿貌しました。現在の人口は約26万人。特に鶴見駅周辺は、横浜市内5つの副都心の1つに位置づけされていて、副都心にふさわしい機能を持つ街へと再開発事業等がすすめられています。(市)

戸塚区

人口約25万8千人、市内第4位。面積35.7km²、市内第1位。市内南西部に位置する区です。緑や水が豊かな自然環境に恵まれていることが特徴です。南北に流れる柏尾川は桜並木とともに区民のシンボルとして親しまれています。また、産業活動が盛んで戦後、大規模な工場や鉄道の進出や商業が周辺に営まれています。戸塚駅の周辺では特に西口の再開発事業や大踏切の廃止や沿道のまちづくり等、副都心にふさわしい活気ある街づくりが進められていて、賑わいと活力のある魅力溢れるまちに変わろうとしています。(市)

横濱えすに君④

タイ料理 ニューサラタイ

自慢のトムヤムクン

今日は長者町にあるタイ料理「ニューサラタイ」の紹介です。24時間営業のこのお店、店内にはVCDデッキもありタイカラオケもOK、コックはバンコク出身で東北地方から都会料理までオールジャンルなんでもこなす。

お店の外観

店員も全てタイ人。店一番のお勧めは、トムヤムクン。実は日本人向けとタイ人向けの2種類があって、別皿で盛られたパクチーで好みの加減ができるのが嬉しい。是非タイ向けにチャレンジを。(和)

第26回横浜開港祭 大成功にて閉会

去る6月1日(金)2日(土)の2日間にわたり、第26回横浜開港祭」が開催されました。大きな事故もなく大勢の市民で賑わい大成功に終わりました。開港を祝い、港に感謝しようをコンセプトに、臨港パークのステージでは、横浜を中心に活動しているバンドの演奏やダンス、ゴダイゴのタケカワ&ヒデさんが出演するライブ、一般市民1300人がコーラスを奏でる「ドリームオブハーモニー」などが行われました。

マリンステージでは、ボートや屋形船の乗船会をはじめ、全長約110メートル世界最大級の帆船「海王丸」が公開され子ども達の元気な声とともに人気を集めました。2日には、臨港パーク前海上で3500発の花火と光と音のショー「ビームスペクタクル」が幻想的な夜空を彩り、2日間のフィナーレを賑やかに演出しました。2年後に控えた開港150周年に向けて大きな弾みをつけるイベントになりました。(光)

また来年!!

発表！！２００７年上半期横浜７大ニュース

1位 MMに「横浜アンパンマンこどもミュージアム」開業
2位 横浜アンパンマンこどもミュージアムに臨時列車直通
3位 港のバースデー「横浜開港祭」
4位 「ハバネロ」を使った激辛発泡酒全国販売
5位 東急東横線・相鉄線が相互直通へ 2019年4月運行
6位 セガ横浜に「ジャムおじさんのパン工場」をプロデュース
7位 「マリノスタウン」グランドオープン

ヨコハマ経済新聞編集部セレクト

今日の顔

2007年度横浜開港祭室 室長板橋由紀君

横浜の発展の礎である港に感謝しつつ、誕生を祝う開港祭がより定着し更なる前進があることを確信しました。と興奮冷めやらぬ胸の内を語る横浜開港祭室室長板橋由紀君。板橋君は、1997年10月に横浜青年会議所に入会。保土ケ谷区在住。AB型。昨年のサマコンに引続き、今年開港祭という大きな事業を無事成功させた板橋君。その功績ももちろんだが、過去のJC経験が認められ、2008年度理事長予定者として、1995年山口弥生理事長に次ぐ女性2番目の理事長としての大役が目の前に迫っている。全てのメンバーと志を同じく邁進していきたいと語る。(光)

2007年度国際都市構築委員会 委員長大谷政明君

横浜の歴史と文化を学び郷土を愛する心を育むことが重要と語る国際都市構築委員会委員長大谷政明君。大谷君は、2002年7月に横浜青年会議所に入会。西区在住の40歳、B型。先日、結婚され、まだまだ新婚ムードの漂う大谷君だが、昨年の横浜ビジネスモデル創造委員会所属の際に開催した例会に引続いて、県民共済みらいホールからJCメンバーに対して新たな発信を行う。「真の国際都市の あるべき姿とは何か。」そこに暮らす人々が魅力を感じる街、伝統や歴史・文化に基づいた国際都市として横浜がさらに世界に誇れるまちとして発展することを確信していると語る。(大)

シリーズ 例会⑤ 新たな試み

2007年度も前半戦が終わり、いよいよ後半戦に突入しております。毎年この時期からの例会は、担当委員会主催例会として各委員会の発表の場となって開催されます。今年は7月は国際都市構築委員会、9月は会員交流研修委員会、そして、10月は開港150周年推進委員会主催の例会となります。しかし、本年度は正副理事長の意向を受け、担当委員会の例会であっても単なる発表の場とせず、あくまで講師例会として開催する方向で進められております。例年と違った発表形式でない例会を皆さんはいかがお考えでしょうか。毎年登録率の低くなる後半戦の例会。今年の新たな試みによってどのように変化するのか、注目したいところであります。(岡)

編集後記

開港祭の花火、よかったねぇ～。初めて観たけど、感動～感動～の連続でした。2日間のスーパーキッズのお手伝いも楽しかったし。開港祭最高！横浜JCバンザイ！また来年。(光)

例会式典新聞

2007年（平成19年） 7月6日 金曜日

JCI Junior Chamber International Japan
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs
Summer Conference 2007

OPENING

スペシャルゲスト
佐藤藍子

■日時：7月21日（土）
11:00〜11:30
■場所：国立大ホール
日本JC会頭との対談を行います。

MAIN FORUM Ⅰ

「理想国家日本の創造のために！」

■日時：7月21日（土）
11:30〜13:00
■場所：国立大ホール

祖国愛や日本の伝統的道徳心の復興がいかにして理想国家日本創造への鍵となるかを訴えます。

EVENING BANQUET

175R

■日時：7月21日（土）
17:00〜19:00
■場所：円形プラザ
各地の夏祭りをイメージして企画。

MAIN FORUM Ⅱ

OMOIYARIの心と祖国愛を礎とした「日本の力」の復活に向けて

■日時：7月22日（日）
9:30〜11:30
■場所：国立大ホール

CLOSING

伊藤由奈

■日時：7月22日（日）
11:30〜12:00
■場所：国立大ホール
思いのこもった歌を通じて「心」を発信。

サマコン2007

サマーコンファレンス開催へ 2007年「日本の力」発信！

2007年度社団法人日本青年会議所第56代会頭奥原祥司君

今年もサマコンの季節がやってきた。毎年横浜開催が恒例となってきたサマーコンファレンス2007が7月21日（土）から22日（日）の2日間、パシフィコ横浜で開催される。毎年登録者数の爆発的な増加に伴い、1995年より大きなコンベンション施設とそれを迎え入れる都市のキャパシティを併せ持つ会場ということで、横浜開催が続いている。2005年は愛知博覧会開催の関係で名古屋開催も有）

「日本の力」発信！というテーマで開催される今回も様々なセミナー、イベントが予定されている。日本JC奥原祥司会頭は、「世界平和実現に日本の発信していきたいとその抱負を熱く語った。全国から集まるJAYCEEと交流が図れることも大きな意味を持っている。（光）

サマーコンファレンス2007 セミナー終了

ロイヤルホール（中区）

先月15日、ロイヤルホール（中区）にて横浜コンベンション委員会主催「サマーコンファレンス2007セミナー」が開催されました。一部ではこれまでのサマコンに関する調査報告が、また二部では日本JC副会頭横田貴次君を招いて講演会が開かれ、参加したメンバーは有意義な時間を過ごした。（光）

ASPACチェンリー大会閉幕

5月30日（水）〜6月3日（日）

第57回JCエアジア太平洋エリア会議が台湾のチェンリーで開催された。横浜JCと長年親交を深めてきたシスターJCでもある台湾という地での開催であったが、残念ながら横浜開港祭の開催日と重なり、横浜から多くのメンバーが参加することはできない状態であったが、正副をはじめ渉外委員会を中心としたメンバーでジャパンナイトブース出展など精力的に活動を行った。（光）

日本JCのHP
〜ご覧になってますか〜

LOMとはまた違った情報が満載です。
＜一般向け＞
http://www.jaycee.or.jp/
＜会員向け＞
http://www07.jaycee.or.jp/2007/

JCI 社団法人 日本青年会議所

「人間力大賞」決まる！

白石康次郎さん

7月1日ついに今年の「人間力大賞」が決まった。全国305名の候補者の中から見事大賞に選ばれたのは、神奈川県からは海洋冒険家の白石康次郎さん、プロサッカー選手の三浦知良さんら11名。全国各地で文化や福祉、スポーツ、まちづくりなどの分野で活躍する傑出した若者（20〜40歳）が選ばれるこの大会、大さん橋ホール（中区）で開催された。白石さんは世界一周のヨットレースで世界2位の快挙が認められて今回受賞。「とても輝いた、どんな状況でも仲間と自分を信じ、夢を持って、港を目指す姿を見せていくことが私の役割」と白石さんは話す。（光）

サマーコンファレンスQ&A

サマコンって何？

日本青年会議所が主催する三大会（1月京都会議、7月サマーコンファレンス、10月全国大会）の中間的な時期に行われる大会で、1966年の軽井沢における政治懇談会としてスタートしました。当時の政治研究意見交換、提言発表に「経済」という切り口を加え東京経済人会議を経て現在に至っています。サマーコンファレンス2007は、我々一人ひとりが愛国心と道徳心を持って、忘れかけている武士道精神を根底とした「日本の力」を全国に発信していきます。参加したメンバーには、明るい豊かな社会、国家を築くという強い意志を持つための英知を磨き、本年度の運動のさらなる飛躍となる起点と位置づけます。また多くの市民には、様々な場面で本会の取り組んできた運動や提言を訴えかけていきます。そして、多くの参加者に気づきを与え、市民の意識変革を導くとき、理想国家日本が現実のものになるのです。

どんな内容？

テーマは、「日本の力」発信！〜祖国を愛する心と高潔なる精神で導く理想国家日本創造に向けて〜。日本は有史以来変わることなく独自の文化を形成し、繁栄の歴史をつないできました。その中で、日本人の誇りである高潔で徳高い生き方、すなわち「武士道」は、諸外国に影響を与えるほどの高い精神性を持っていました。しかし、戦後教育を受けた人たちの中で、この精神性を忘れてしまい、他人を思いやることができなくなった人を数多く目にします。今こそ祖国を愛する心と高潔なる精神を呼び覚まし、日本人の心を次の世代につなげなければなりません。

サマコンの歴史って？

サマーコンファレンスの歴史はその前身からみると意外に古く、その端は1966（昭和41）年の第1回政治問題セミナーに始まります。当時、日本は戦後20年を経過し、東京オリンピックを節目に新たな経済大国の道を歩み始めていました。戦後の経済復興を担う若手実業家の集まりであった青年会議所も自ずとその視野を広げ国の将来や世界の中の日本を意識するようになっていたのです。時の辻会頭は前年度の遠山会頭が労音対策を通じて政治意識に目覚めさせたのを受けて政治問題に取り組み出しました。それはその年の春に田中彰治事件が明るみに出、政界の黒い霧問題が巷の話題をさらい、国民間には政治への不信感、疎外感が充満していたことから、また一方で青年会議所は政治問題については一党一派に偏してはならないという基本原則によって積極的には介入することはなかったというが、ありかたを破る挙に出たものだったのです。そこで、当時の若手政治家が夏場避暑に軽井沢に多く集まることに注目し、セミナーが開かれることになったのです。